

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月05日

計画の名称	高槻市きれいな水と快適な暮らしを守る下水道（第2期）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	高槻市											
計画の目標	下水道整備を行い、良好な環境を創造し、快適で活力のある暮らしを実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	230	A	230	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	下水道処理人口普及率を99.59%（R2）から99.62%（R6）に増加。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口	99%	99%	99%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
定量的指標の現況値及び目標値（小数点以下整理前）：1 当初99.59% 中間99.61% 最終99.62%														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(汚水)	新設	高槻処理区 汚水管整備	汚水管 L=873m	高槻市						190		-		
	A07-002	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(汚水)	新設	中央処理区 汚水管整備	汚水管 L=100m	高槻市						40		-		
												小計						230			
												合計							230		

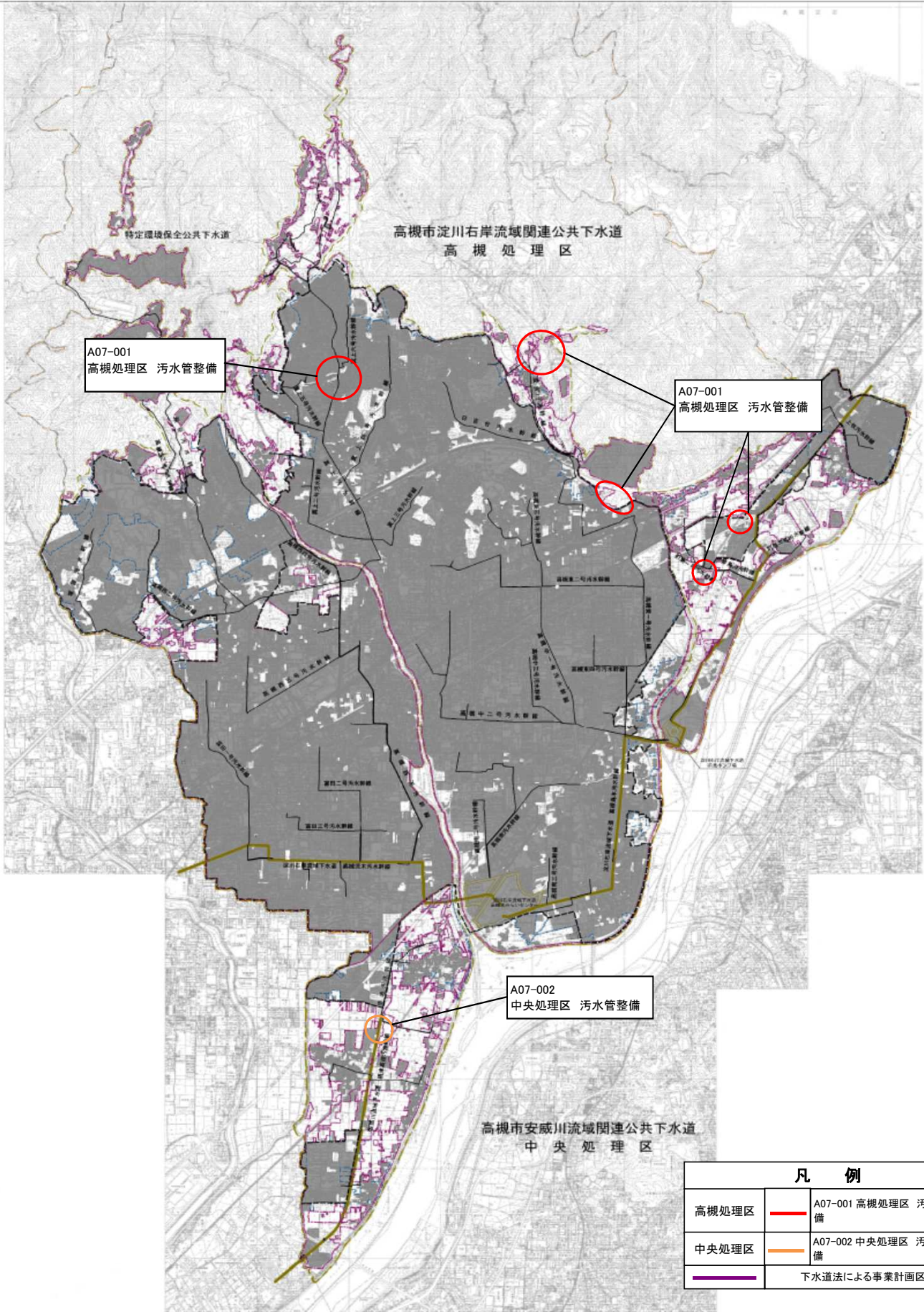
交付金の執行状況



(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	11	9	12		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	11	9	12		
前年度からの繰越額 (d)	10	0	0		
支払済額 (e)	21	9	12		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

高槻市公共下水道計画図（污水）

高槻市公共下水道計画図（污水）



凡 例	
高槻処理区	 A07-001 高槻処理区 污水管整備
中央処理区	 A07-002 中央処理区 污水管整備
	 下水道法による事業計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 高槻市きれいな水と快適な暮らしを守る下水道（第2期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 3) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○